

## ○第7回長門市部活動改革推進協議会 会議録（概要版）

日時：令和6年5月29日（月）午後6時30分～午後8時10分

場所：長門市役所4階会議室

出席者：協議会委員17名、事務局10名

### ■事務局

第7回長門市部活動改革推進協議会を始めます。よろしくお願いいたします。

まず委嘱状を交付します。これは市の組織改革に伴い、本年度から協議会の主管が教育委員会から市長部局へ移管されたことから委員の皆様にも市長から改めて委嘱するものです。

### ■市長

委嘱状交付

### ■事務局

ありがとうございました。最初に市長からご挨拶申し上げます。

### ■市長あいさつ

みなさん、こんばんは。本日は、お集まりいただきありがとうございます。第7回長門市部活動改革推進協議会の開催に先立ち、ひとことご挨拶申し上げます。

まず、今年度の組織改編により、市長部局内にスポーツ文化交流課を新設し、スポーツや文化に関する事務を一元化して行うこととしました。それに伴い、これまで教育委員会部局において行ってきた部活動地域移行に関する事務も同課内に専門的に行う「準備室」を立ち上げました。準備室では、両部局でしっかりと連携し、これまで積み重ねられた協議会での議論も活かしながら、令和7年8月の移行開始を目指して、取り組みのスピードを更に加速させていきます。

この部活動改革は、現在、全国的に取り組みが進められていますが、本市は、これまで各中学校で展開されてきた部活動から、市が運営する新たな地域クラブへ移行させ、市内共通の種目選択肢を確保し、持続的にスポーツ・文化芸術活動に親しめる体制づくりを進めることとしています。

また、これを機に、中学生のみならず、一般市民のスポーツ・文化芸術活動の活性化にもつなげることにより、地域全体を元気にしていくことも目指していきたいと考えています。

この改革は、多くの人々に影響を与え、大きな変化をもたらすと思いますが、委員の皆様には、未来ある長門市の子供たちと地域活性化のために、ご協力をいただければ幸いです。

以上、簡単ではございますが、挨拶といたします。

## ■事務局

ありがとうございました。協議会の会長は、要綱の規定で教育長が務めることになっています。また、副会長はこれまでに続き、梶山長門市スポーツ協会会長にお願いしています。

それでは議事に入る前に会長よりご挨拶申し上げます。

## ■会長

こんばんは。令和4年1月に立ち上げました本協議会も今回で第7回を数えることとなりました。引き続き本協議会の会長を務めます、教育長の伊藤です。よろしくお願ひします。

先程から話があるように令和6年度から部活動地域移行準備室を観光スポーツ文化部スポーツ文化交流課に設置し、市をあげて地域移行を進めるとともに、本市のスポーツ文化に係る環境整備を進める体制としたところです。

教育委員会も学校や中体連、中文連との連絡調整や、移行の方向性について準備室と密接に連携して取り組んでいるところです。本日は移行にかかる準備の現状と課題について、事務局から報告がたくさんあります。生徒の部活動希望状況の予測や指導者確保のための取り組みなどから現実的な課題にも直面しています。報告をお聞きになった上で、どうぞ率直なご意見を賜りますようお願いしまして、私からの挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお願ひします。

## ■事務局

ありがとうございました。それでは、議事進行を会長の方にお渡ししたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

## ■会長

それでは、議事に入ります。議題1「組織改編及び地域移行後の移行体制等」について、事務局から説明をお願いします。

## ■事務局

### □議題1の説明

今年度からスポーツと文化に関する事務を市長部局に一元化する組織改編により、観光スポーツ文化部の中にスポーツ文化交流課を設置、加えて部活動地域移行準備室を新たに立ち上げました。それに伴い、当協議会の事務局も部活動地域移行準備室に移管し、引き続き関係部署との連携を密にしながら、取り組みを進めていきます。

また、市営の地域クラブ「通称Nクラ」設立後は、準備室をクラブ事務局に移行して、引き続き市長部局と教育委員会部局、各中学校と連携を図りながら、クラブ運営を行っていきます。また、事務局の直下に各種目の技術コーチ及びサポートコーチのグループを配置することで、各種目の運営にあたりたいと考えています。

## ■会長

議題1について、ご意見等ありますでしょうか。

→ 意見等なし

それでは議題2に移ります。議題2「市営地域クラブの目的及び活動方針（案）」について事務局から説明をお願いします。

## ■事務局

### □議題2の説明

まず、市営地域クラブの設立に向けて、活動方針を明確化し説明、周知をしていく必要があります。令和5年10月に策定した中学校部活動地域移行素案に活動方針（案）を示していますが、若干修正を加えたものを活動目的と活動方針として定めたいと思います。

生徒の自発的な参加のもと、「体力・感性の向上」「自己表現」「責任感と協調性」を育み、生涯にわたってスポーツや文化芸術活動の楽しさを感じるとともに、それぞれの目標に向かって自主的かつ真摯に取り組むことができる人材を育てることを目的とする。ここまですが目的です。次に活動方針になります。

- ① 生徒の心身の健康と成長に配慮し、安全・安心な活動を図る。
- ② 団体や個人の大会等での勝利や技術向上のみを目的とせず、仲間と協力し友情を深め、様々な人と交流する中で好ましい人間関係や社会性の形成に資する活動を図る。
- ③ 生徒の発達や能力の段階に合わせた合理的かつ効率的・効果的な活動を図る。

この順番は、優先順位の意味合いを込めています。スポーツ選手や芸術家を育てるための活動ではなく、人間性を育むことが主の目的です。市営地域クラブと一般的なクラブチームとの違いを、活動の目的と方針で示しています。「新たな地域クラブ活動」という言葉は、部活動の地域移行に伴い新しく出てきた用語であり、国はガイドラインの中で、「学校の教育課程外での活動で社会教育の一環、各種団体等が行うスポーツ・文化芸術活動で、学校と連携しながら、学校部活動の教育的意義を継承・発展しつつ、スポーツ・文化芸術の充実を図ることが重要である」とし、これを改めて「地域クラブ活動」と定義しています。

県はさらに一步踏み込んだ表現で、地域クラブ活動は、「学校部活動の教育的意義や役割を継承する活動」とし、これを踏まえると、単に中学生が加入するスポーツクラブ・文化芸術クラブ等とは区別する必要があると考えられます。「学校部活動の教育的意義」は何かというところで、「長門市立中学校部活動運営方針」では、「部活動は生徒たちの自主的・自発的な参加によって、学校教育の一環としておこなわれるもの。部活動は知識や技術の習得、主体性や協調性、責任感等の個人の可能性を伸ばすことができる。また、目標に向かって仲間と協力して取り組む活動、達成したときの喜び、充実感・達成感、そういう感動を味わう体験を通して、友情を深め、好ましい人間関係、社会性の形成に資するものということ。生

涯にわたって、スポーツや文化に親しむ態度を育み、学校や家庭、地域とのつながりを深める活動」とし、これが部活動の意義であるとしています。指導者を確保していかなければならない中で、Nクラはこういった活動をしたいという説明をする上で、ここは重要なポイントです。

## ■会長

今一度、目的と活動方針について、いかがでしょうか。

→ 意見等なし

それでは、議題の3「種目、チーム構成について」事務局から説明をお願いします。

## ■事務局

### □議題3の説明

深川中学校で現在展開されている種目をNクラの種目に採用するという事で、各種団体等と協議や意見交換をしています。市内どこの中学校においても、同じ選択肢をもって選ぶことができることを確保すること、今やっているものを続けられるようにという意味合いをこの素案に反映しています。

チーム構成について、今複数チームを検討している団体の競技で、例えば軟式野球、バレー女子は3チームを構想していますが、競技人数が野球9人、バレー6人とこれがそろわない場合は、チームとして成立せず、試合に出られないこととなります。試合に出られない活動にはしたくないため、その場合は中央に合流するという構想も持っています。

新1年生が新入部員として各学校の部活動に入部しています。これは、Nクラが令和7年8月なので、Nクラの活動1期生にあたります。

まず仙崎中学校ですが、ソフトテニス部の多くが長門STCという新しいクラブに移籍したため、男子の新入部員0、女子については、2年生が多く移籍しましたが、1年生は多く入部されて12人となっています。

また、陸上競技のクラブチームOPCにも、仙崎から多く生徒が入られ、今学校外クラブチームへの加入が多くある状況です。

深川中学校では、軟式野球とバレーの新入部員が4人ずつで若干少なくなっています。それと比較して、男子バスケが13人、陸上が8人ということで、人気があります。女子については、ソフトテニス、卓球が人気ですが、吹奏楽は今年度0人ということでした。また、柔道は新入部員が1人ということで、今後の対応を検討していかなければなりません。

次に三隅中ですが、バレー部が7人ということで、スポ少はやってなかったけれども、中学校に入ってバレー部に入ったという人が結構いると聞いています。

日置中では、軟式野球に2人、バレーに今年は0ということで、この夏以降は、合同チー

ムにならざるを得ない状況になっています。

菱海中は、軟式野球とバレーが今のところ人気になっています。

学校外クラブチームの方が新しくできたこともあって、その加入率は、昨年度は7%でしたが、今年度は13%に増加しているというところです。

次に予測人数で、令和7年8月とそれ以降の予測の人数を出しています。軟式野球ですが、令和7年8月は東クラブが12人、中央クラブが9人、西クラブが12人ということで、それぞれのチームの人数が9人でクリアしていますがぎりぎりの状況で、3チームで構成していますが、果たしてどういう形が望ましいのか、これはまた関係者等々とお話をしていきたいと考えているところです。

続いてバレーですが、令和7年の8月から、東クラブだと15人、中央が6人、西クラブが12人という予測になっていて、当初の構想では三隅と仙崎という東クラブの構想でしたが、仙崎と深川で中央クラブとも思いますので、色々な可能性を検討し、関係者と話をしていきたいと思っております。

それから、ソフトテニスについて、仙崎中の男子が0人となり、チーム構想が果たして適切なのかそこも検討したいと思えます。

次に吹奏楽について、深川中が0人、日置中が2人ということで、東クラブと中央の2チーム構想としていますが、どういう形がいいのかここも話していければと思います。

剣道は、スポ少との兼ね合いも含めながら検討していきます。

卓球は、男女とも移動なしで活動できるということがあるので、指導者の確保ができればと考えております。

現在及び将来的な参加人数、指導者の人材、移動路線の人数、それから民間のクラブの状況などを総合的に検討・検証して、Nクラ開始時期時点の種目の内容、それからチームの構成の最終的な決定を行いたいと思えます。あわせて、Nクラ競技種目の全部または一部を受ける民間の地域クラブに対する支援等も行っていきたいと思えます。

## ■会長

非常に多い情報量がありましたが、1つ分かったことは当初の素案で計画していた軟式野球やバレー、また吹奏楽等がその人数ではなかなか難しいかもしれないということです。委員の皆様いかがでしょうか。

## ■委員

耳に入ったことですが、バレー女子のスポ少は今市内に2チームしかないというのは間違いですか。

## ■事務局

バレーは三隅、深川、日置の3チームあります。ただ深川は今4人しかいないと聞いてい

て、チームとしては難しいとのことでした。

■委員

今のNクラの構想は3チームですが、流動的に数が変わると理解していいですか。

■事務局

はい。人数によって変化する必要があると考えています。

■委員

今年3チームできて、来年2チームになってというふうに毎年変化するのもいかなものかと思うので、長い目で見てという考えがあってもいいのかなと思います。

■事務局

チーム競技は、一度減らしてしまうと、今年は人数増えたから2つにしようことは正直難しいと考えています。子どもの数も減ってきていますので、やはり集約化していくのがよいのではないかと考えています。

■委員

中学校から新しいスポーツなどにチャレンジしてほしいが、ある程度専門的な技術のいる競技にはスポ少があり、その上に中学校Nクラがあるみたいな考えでいくと、やっぱり小学校のスポ少の人数をきちっと把握していく必要があると思います。

■事務局

スポ少の指導者の方と話をし、実際にNクラの影響は中学生だけじゃなくて、小学生にもあると言われていました。深川バレーは4人で、特に危機感を持っておられて、スポ少自体も集約化させていく必要があるなという話をさせていただきました。

■会長

ありがとうございます。いずれにしても、実際にニーズを調べていき、先を見越して地域移行を進めていくということが課題になるのかなと思います。

そのほか委員の皆様、ご意見等ございますか。

→ 意見等なし

スポ少の指導者の方ともそれぞれの種目で密接な協議が繰り返され、今後もこれを続けていくことで、より現実的な見える形に近づけていけるのではと思います。

それでは議題の4「指導者等について」事務局より説明をお願いします。

## ■事務局

### □議題4の説明

Nクラの指導者等の呼称について、まず技術コーチは、各種目の専門的な知識・技術や資格を有している方で各種目チームに複数名が付き、その中で代表者1名、副代表、連絡員など、中心になっていただく方を選出していただきたいと思います。役割としては指導計画、メニューの作成、コーチの配置、試合の引率などです。所属する各競技団体等からの推薦を受け応募いただき、面接などを行って事務局が審査することを考えています。

次にサポートコーチについて、現場の指導者が不足するときに技術の指導、指導の補助、安全管理等を行う方で、Nクラ全体でどの種目でも行けるよう、事務局からサポートコーチグループに照会し配置することを想定しています。同じく所属団体等から推薦を受け応募いただき、面接などを行って認定したいと思います。このコーチの名称は、現在のスポーツ指導の現場では、ティーチングではなくコーチングという言葉を用いて育成年代の現場で選手自らに考えさせることが重要という考えのもと、名称もコーチという言葉を採用したいと思います。

次に指導者の確保について、卓球競技は4/18に関係者の方にお集まりいただき、協議・意見交換を行い、新たに2名の新規資格取得希望者を確保できました。また既に所有されている方が市内に2～3名いらっしゃいます。実証事業の指導についても、会議に参加いただいた方の協力が得られるような格好になっています。

次にソフトテニスです。卓球と同じくJSPPO資格がないと中体連の参加ができないため、今のNクラの構想でいくと、最低2人はこの資格保有者を確保する必要がありますが、この資格保有者は、県内全体でも50名もないということで、市内には1名となっています。新規で取得希望がないか関係者と話をしたところ、3名の方が受講することとなりました。

この卓球とソフトテニスの資格要件が非常に厳しいということで、先に会議を開催しました。指導者資格の受講は、多くの時間と費用がかかります。非常に大変ですが、費用は、市の方からの助成金を今年度予算化しており、Nクラで指導いただける方に交付することを考えています。

今後も、引き続き他の団体とも協議をしていくとともに、指導マニュアルや研修プログラムを作っていきたいと思っておりますが、専門的な意見や知見も必要なことから新たな専門委員会やグループを立ち上げも検討します。

そのほか、指導者の確保には、教職員を含む公務員の活用を図りたいと思います。

## ■会長

何かご質問等はありませんでしょうか。

■委員

種目によって、練習場所が1～2か所、卓球だと5か所の練習会場がありますが、この指導者は1か所につき何名くらいの配置を想定されていますか。

■事務局

1つの種目、チームで1会場につき原則2名の配置が望ましいと思います。人数が多いものや種目が分かれる陸上競技は3名配置することも考えております。

■委員

ありがとうございます。

■会長

その他ございませんでしょうか。先般、衆議院において全会一致で可決された日本版DBSが今後稼働してこようと思っておりますので、それも考慮しながら指導者を確保という流れになってくるかと思っております。その他いかがでしょうか。

それでは、議題の5「一部実証事業について」事務局より説明をお願いします。

■事務局

□議題5の説明

まず卓球競技について、菱海卓球クラブを今年度実証事業として行っていきます。現時点で8/24から、毎週水曜日と土曜日、水曜日は放課後から90分以内、土曜日は15時から17時、菱海中学校で部活動がない日時を予定しています。テスト期間中は開催せず、会場は菱海中学校の体育館です。参加費は年会費200円と1回参加する毎に100円、1カ月単位でまとめて納付書を送りたいと考えています。指導者は、市の卓球協会から派遣という形でご協力をいただく予定です。部活動がない時間帯ということで、野球部などの他の部活動をやっている子どもたちも、この活動に参加ができるということにしています。中体連の登録は行いませんが、市主催のルネッサながとで開催する大会等については、希望があれば参加を検討したいと思います。また、連絡体制は長門市公式LINEを活用して参加者、指導者などが事務局と連絡をとりたいと考えており、活動日当日は、事務局も現場に行く予定です。この活動の目的は、基礎的な練習、試合形式を通じて技術向上を図りながら卓球の楽しさを感じるような活動としています。また、向津具方面のスクールバスについて、水曜日の放課後にこの活動に参加した生徒を連れて帰りたいということで、もう1便追加してもらうよう教育総務課とスクールバスの運行会社と協議しているところです。土曜日については、保護者の送迎でということをお願いしたいと思っています。

次に三隅中のレククラブについて、「イラスト絵画クラブ」と「バンドやろうぜプロジェクト」を、学校運営協議会が主体となって、今年度から活動をはじめたところです。これも



部活動がない時間帯で、地元の方を講師として招き、生徒が地域の人と一緒に活動します。会場は三隅中学校の美術室と音楽室を利用し、今後公民館での活動といった部分も検討していると聞いています。文化祭での発表を目標に、展示する作品の製作や演奏活動を展開していくということを考えています。三隅中では運営協議会が中心となって、1年以上前からこういう構想があると聞いていました。

#### ■会長

実証事業ということで、菱海中の卓球と三隅中のレククラブの紹介がありましたが、何かご意見等ありますでしょうか。

#### ■委員

卓球は、令和7年8月から5か所でスタートするわけですが、今菱海中には卓球がないというところで、是非参加いただいて、どうかたちで進めるか検討するには丁度いいと思います。指導者もどの程度確保できるかということにも繋がるので、是非多くの生徒が参加できるように呼び掛けていただきたいと思います。

#### ■会長

ありがとうございました。それぞれ活動の様子は事務局、協議会から市民の皆様にしかりと伝えていくことが大切かと思えます。

#### ■委員

非常にいいことをはじめられると思いますが、卓球は協会から派遣されるとのことで、きちんと資格がある方等が指導されるかと思いますが、三隅中の方は全くコーチの講習がないですが、いかがでしょうか。

#### ■事務局

レククラブでは、指導者というよりは、地域の人が生徒と一緒に楽しみましょうというイメージで、コミュニティスクールとかに近い活動と考えています。

#### ■委員

スタートは仕方ないかもしれないが、今後を見据えて市で一般的なサポートコーチと同じくらいの最低限の講習は受けないと他の指導者とのバランスがとれないと思います。

#### ■事務局

本格的に始まるときには、マニュアルを作成して広く研修を行っていくこととしていきます。レククラブをどこまで入れるかというところはありますが、ノータッチではなくて何

かしらマニュアルの提示くらいは必要と思っていますので、今後詳細を検討します。

#### ■会長

子どもたちの指導にあたるための基本的な知識やマナーは当然必要で、今後詳細を整えたいと思います。

#### ■市長

レククラブは、スポーツとか音楽に苦手意識があっても、それでも何かクラブ活動に参加できるものとしてレククラブという印象を受けていましたが、実際入部しようとしたら活動が音楽とかイラストとか内容が決まった活動になると入部へのハードルが高いということはないでしょうか。

#### ■事務局

レククラブを各学校でどのような活動にしていくかは、その地区の状況や特色があると思いますので、今後学校とも話をしていきたいと思います。

イメージでは、レククラブはやることは決めずに今週はこれ今月はこれと、その地域の人材、特色を生かした活動が、例えば季節やシーズンによって変えてもいいですし、こうしていくと決める必要はないと思います。

その活動内容は、スポーツであったり文化系であったり、生徒のニーズに応じて変わってきますし、何かかたちのあるものに入るということはイメージしていませんが、三隅中では、そういった人材が三隅にいて、活用していったということだと思います。

イラストについて、私が学校運営協議会の方と話したとき、以前テスト的にイラスト絵画クラブをやってみたときに普段、不登校気味の生徒がこの日は来たいということで喜んで学校に来たと聞きました。イラストに関してはそういったこともあり、そんなに高いハードルとは思いますが、今回学運協の方が言われるのは、1つ目標をもった活動にしないと張り合いがないからということを言われています。何か目指すところをもった活動をということで、今回は文化祭での発表を目標にこのようなかたちをとられていると聞いています。ただイメージは、多様なことをやってもよいと思いますし、それが地域ごとで変わってきてもいいのではと思います。

#### ■会長

私も三隅の学運協の方から聞きましたが、イラストや音楽があるけれども、公民館活動でもある囲碁や将棋も今後してみたいと話していました。季節に応じて色んな文化・スポーツ活動に取り組んでみたいとの話もあり、まずはこれを皮切りにということになるのかなと思います。

そのほかございませんか。

→ 意見交換等なし

では、議題6「今後のスケジュール（案）について」をお願いします。

#### ■事務局

進捗状況によって変更することがありますので、ご了承ください。まず、運営組織の部分について、今年8月から実証事業をはじめつつ、Nクラの説明資料の作成に取り掛かり、年内を目途にまとめていき、令和7年2月の入学説明会でしっかりと説明ができるようにしたいと思います。

指導者については、今、各種目の関係者と協議をしていますが、夏休みには各学校の教員の方々への説明に回り、同時に指導者のマニュアル、研修プログラムを作っていくと考えています。それから、今年度末にはチームの構想を決めたいと思います。

令和7年度になってからは、非常にタイトなスケジュールになりますが、運営組織、連絡システムをはじめ、5月には入会の申込みをいただいて、6月に中体連登録という流れを考えています。チームの名称も中体連の登録までに決める必要があります。

7月に詰所の設置とありますが、中心校の深川中にプレハブ小屋を置かせていただき、Nクラの活動中は事務局の職員が待機して緊急事態に対応できればと思います。また、各中学校にもう1人の事務局職員が現場を巡回して活動を確認できればと思います。

指導者について、3～4月にかけて説明会を行いつつ、5月以降で研修会を実施して8月の運営開始に備えると同時に、指導者の登録や任用を行っていくことを考えています。もちろんNクラの開始以降も随時研修会は開催していきたいと思っております。

また、Nクラ移行後すぐに新人大会有り、チーム構成が変わると枠が市だけの予選でなくて広域になる可能性もありますが、そこをまずは目指していきたいと思います。

スケジュールについては、変更となる可能性が十分にありますが、おおまかな流れは以上です。

#### ■会長

スケジュール（案）が示されましたが、何かご意見はありますか。

#### ■委員

令和7年7月の市夏季大会については、まだ確定ではないと思いますがいかがでしょうか。

#### ■事務局

今年の予定を参考に、3年生の引退試合ということで入れています。

■会長

県内では、市の夏季大会がほとんどないということですが、今年度萩・長門地区ではやる予定しています。なくなった場合は、6月の選手権をもって3年生は活動が終わるため、実施が確定しているわけではありませんが、それを7年度も実施するという前提でこのスケジュールを立てているというところですね。

以上も含めて、何かご意見等ありますか。

■委員

時間もあるので、5校の校長から出ている疑問点や懸案事項を取りまとめ、そのうえでご回答もしくはご検討いただき、次回報告いただくという流れにしたいと思います。やはり実際に学校の子どもたちが動いていきますので、学校の動きとの連動性を考えないとスムーズにいかないと思いますので、よろしくお願いします。

■会長

中学校5校の校長が協議し、細かい部分も含めて疑問点等を事務局の方にお知らせするというのでよいでしょうか。

■委員、事務局

はい。

■会長

全体をとおして、何か気づき等があればお願いします。

→ 意見等なし

ここで質疑応答を打ち切り、事務局にお返しします。

■事務局

会長ありがとうございました。委員の皆様には、慎重なご審議をいただき誠にありがとうございました。

次回協議会は7/31に開催予定ですのでよろしくお願いします。

以上、第7回長門市部活動改革推進協議会の全てを終了したいと思います。ありがとうございました。